

(法第28条第1項関係様式)

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人
高山オリ子美術館

1. 事業の成果

① 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、セピア世代(高齢者)である地域住民及び社員の安全を優先し、引き続き一般公開を休館することとしました。休館中には、館内の美化・衛生に努めるとともに、備品の修繕等を行い、いつでも来館者をお迎え出来るよう努めました。

10月より2か月の短い期間でしたが、開館することができました。新型コロナウイルス拡散防止のため事前予約制といたしました。予約無くお越しいただいた、お客様には、大変心苦しく、コロナ終息後の再開をお約束し、ご理解をいただきました。現在、コロナ感染者の再増加を鑑み、再々度休館となっておりますが、コロナ終息後には、再び、四季折々に美しい耶馬溪をもっともっとたくさんの方々に認知していただけるよう紹介していきたいと思っております。

② ご希望のあった来館者様に、美術館・博物館等での鑑賞マナー教室を開催しました。

③ 会員様より、福岡市美術館で開催されるゴッホ展(響きあう魂へレーネとフィンセント)を鑑賞するにあたり、事前に美術館鑑賞マナーを学習したいとの要望を受け、当館での鑑賞マナー教室及び福岡市美術館でのゴッホ展鑑賞会を行いました。

④ 芸術交流事業につきましては、コロナ禍にあるため、参加者は、県内在住者に限らせていただき、蜜にならないように少人数で数回に分けて行いました。遠方の参加希望者には、リモートで参加していただきました。今、世界は目に見えない敵(ウイルス)と戦っています。多くの大切な命を失いました。目に見えない敵を前に、怯える毎日を励ましてくれたのが、美しい耶馬溪の自然であり、大好きなアートであるのご意見を頂戴し、コロナ終息後の未来への希望と勇気をいただきました。

⑤ インターネット(中津市観光課HP、来館者のSNS)のおかげで、年々、遠方(他県・海外)からの来館希望のお問い合わせが増加しています。また、卒業生や地元帰省者の皆様から、新しいご家族やご友人へ当館を紹介していただき、来館希望のお問い合わせが多くなりました。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び	支出額(千円)
美術館運営事業	美術館一般公開	10~11月	当美術館	延べ20名	約150名	208
	卒業生・地元帰省者特別公開	8月13~15日	〃	3名	15名	
各種芸術交流事業	かえるの歌を聴く会	6月、7月	〃	2名	4名	154
	大地の声を聴く会	8月	〃	2名	3名	
	鳥の歌を聴く会	9月	〃	2名	3名	
	虫の声を聴く会	10月	〃	2名	6名	
	絵のある風景での音楽会	12月、1月、2月	〃	4名	15名	
芸術教室開催事業	鑑賞マナー教室	10~11月	〃	6名	31名	86
	絵画鑑賞教室	2月	〃	2名	3名	

(2) その他の事業

本年度は、実施しませんでした。

令和3年度 活動計算書
R3年4月1日からR4年3月31日まで

(特定非営利活動法人 高山オリ子美術館)
(単位:円)

科目・摘要	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
(資金収支の部)			
I 経常収益			
1 受取会費・入会金	60,000		
正会員受取会費	60,000		
2 受取寄付金	550,000		
受取寄付金	550,000		
3 事業収入	119,050		
①美術館運営事業	73,050		
②各種芸術交流会事業	31,000		
③芸術教室開催事業	15,000		
④各地での個展開催事業	0		
3 その他収益	0	0	
経常収益計	729,050	0	729,050
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
福利厚生費	16,415		
研修費	23,925		
人件費計	40,340	0	
(2)その他経費			
会議費	32,607		
消耗品費	88,399		
衛生費	34,408		
旅費交通費	116,060		
車両費	19,414		
通信費	15,094		
燃料費	14,003		
水道光熱費	33,055		
雑費	54,850		
その他経費計	407,890	0	
事業費計	448,230	0	448,230
2 管理費			
(1)人件費			
福利厚生費	16,416		
人件費計	16,416	0	
(2)その他経費			
会議費	38,013		
消耗品費	16,315		
衛生費	38,183		
修繕費	4,036		
車両費	19,414		
通信費	15,645		
燃料費	14,003		
水道光熱費	33,055		
地代家賃	60,000		
保険料	39,404		
雑費	109		
その他経費計	278,177	0	
管理費計	294,593	0	294,593
経常費用計	742,823	0	742,823
経常収益計	△ 13,773	0	△ 13,773
III 経常外収益			
1 固定資産売却	0	0	0
2			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1 固定資産取得費	0	0	0
2			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 13,773	0	△ 13,773
前期繰越正味財産額	18,992	0	18,992
次期繰越正味財産額	5,219	0	5,219

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(特定非営利活動法人 高山オリ子美術館)

科目・摘要		金額(単位:円)	
I	資産の部		
	1 流動資産		
	現金	5,219	
	流動資産の合計		5,219
	2 固定資産		
	固定資産の合計		0
	資産の合計		5,219
II	負債の部		
	流動負債		
	流動負債の合計		0
	固定負債		
	固定負債の合計		0
	負債の合計		0
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	18,992	
	当期正味財産増加額(減少額)	△ 13,773	
	正味財産合計		5,219
	負債及び正味財産合計		5,219

計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) ボランティアによる役務の提供

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

内容	金額	算定方法
該当なし		

(2) 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引の内容は以下のとおりです。

科目	計算書類に記載された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書) 受取寄付金	550,000	550,000
活動計算書	550,000	550,000

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

(特定非営利活動法人 高山オリ子美術館)

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	5,219		
流動資産の合計		5,219	
2 固定資産			
固定資産の合計		0	
資産の合計			5,219
II 負債の部			
流動負債			
流動負債の合計		0	
固定負債			
固定負債の合計		0	
負債の合計			0
正味財産			5,219